

# みんなの ひろば

手芸品を製作

はまなす会の皆さん

皆さんに活動を知ってもらいたい



↑箸置きを製作するはまなす会の皆さん

クローズ  
アップ  
まちのひと

1980年の9月に会員数13名で発足した『はまなす会』。心の病気を抱える方々が退院後も地域で生活していくことを目的に、医師や看護師の支援を受け活動を始める。各種活動を通じた生活技術向上の場、地域における仲間づくりのための交流の場としても、はまなす会はその大切な役割を果たしてきた。

現在の会員数は5名。昨年からは活動場所を旧包括支援センターに移し、月1回だった活動を週1回へ拡大。ボランティアの協力を得ながら昼食作りや細かな手芸品作り、その他にも会員それぞれが知恵を出し合い、新しい作業にも挑戦している。

取材したこの日は2009年からフリーマーケットを出店している『おむむ産業観光まつり』に向けた箸置き製作中であり、最後の仕上げとして、ツヤを出すためのニス塗り作業を行っていた。「箸置き作りは、会員と保健師さんで発案したものです。梱包に使っているプラスチックの

ひもに和紙を張り合わせて作るところが難しい。フリーマーケットで商品として売るものなので、見た目をきれいに整えるように注意して作業しています」と会のメンバーは話す。

「昼食作りや手芸品作りなど、新しいことができて楽しい」、「会員数が少ない中、行事もたくさんあって大変ですけど、ボランティアさんがいてくれてとても助かりますし、ありがたい。みんなで食事を作って食べることが楽しいので続けていきたい」と、はまなす会の活動について話してくれた会員の表情は一様に明るい。

## ひとつひとつの仕事の意味を考えて

役場総務課職員厚生係兼庶務係 上野 はるか さん



現在、役場総務課職員厚生係兼庶務係として勤務する上野はるかさん（19歳）。出身は大空町。北見柏陽高等学校を卒業後、昨年の4月に雄武町役場へ就職。「長く住んでいるこのオホーツク管内で、地域づくりの仕事に携わりたいと思ったことと、海が好きなので、海の面した町で町民の方々と直に接する仕事がしたいと思い、雄武町へ就職することを決意しました」と振り返る。

「上野さんが夢中になっているのは、こちらで生活するようになって始めたヨガ。『集中力が高まる気がしますし、始めてからは身体の調子がいい』と話す。子も良いんです」とヨガの魅力を話す。勤務して1年が経った現在では、主に職員の福利厚生を担当。今後の目標について「まだまだわからないことも多く、先輩に教えてもらうことがほとんどです。今後は助言をしっかりと吸収し、ひとつひとつの仕事の意味を考えながら、細かいことにも気づいていけるような職員になりたいです」と話してくれた。

♡性格 温和です

♡休日の過ごし方 お菓子作り

♡好きな男性のタイプ 落ち着いている人、いっしょにいて楽しい人

## 小さな美術館

沢木小学校



↑「ピアノ」



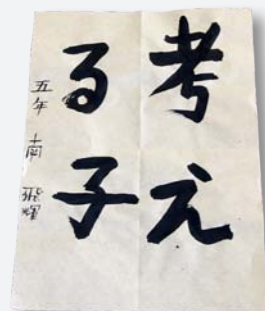
畑野 莉那さん(4年)



↑「いなばのしろうさぎ」



畑野 大空くん(2年)



→「考える子」



南 飛輝くん(5年)



↑「MODERU♡AYA」



村上 彩さん(4年)

※前年度の学年で記載しています

## わんぱくキッズ

おおきくなったら  
～若草保育所～



さかもと  
ここなちゃん

おかあさんと  
おなじおこと



たはら  
はるかちゃん

びょうしさん



くにい  
ことみちゃん

びょうしさん